

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-029
補助事業名 平成27年度 自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な社会作りを推進する事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

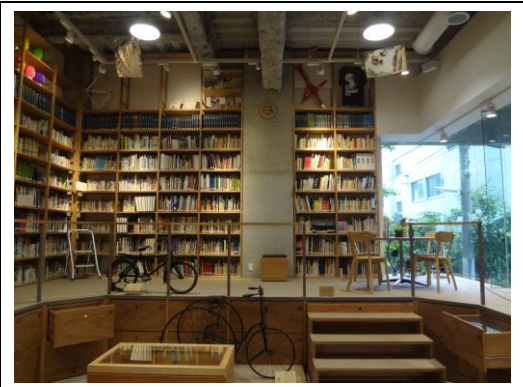
(2) 実施内容

1. 自転車情報提供事業

自転車の情報発信基地である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。(来館者 6,079 名)



自転車文化センターライブラリー正面



(専門図書・自転車展示)

また、自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、6テーマのレポートを作成し、調査研究報告書を全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。

[\(http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/\)](http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/)

2. 自転車普及啓発イベント

① 自転車月間イベント

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/bikemonth/2015/2015report2.html>

(別紙5)

平成27年度自転車月間推進事業の報告と決算報告の審議及び平成28年度自転車月間事業の実施計画と予算等を審議するため、自転車月間総会を開催した。

また、「自転車月間(自転車の日/5月5日)」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2015』を開催した(4,025名来場)



「サイクルドリームフェスタ2015」入り口

「サイクルドリームフェスタ2015」 会場の様子

②自転車に関する企画催事 <http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100237>

下記の企画催事を開催した。

名 称：「2016 ハンドメイドバイシクル展」

期 間：平成28年1月23日(土)～24日(日) (2日間)

場 所：科学技術館1階 催物場

内 容：国内外のハンドメイドバイシクルのビルダー、メーカーの「実車展示」

斬新な新機構を試作し製品化を目指す「独創的なパーツ展示」

ハンドメイドビルダーによるトークショー

来場者数：計2,562人 (1日目1,242人/2日目1,320人)



会場の様子

ビルダーによるトークショー

③自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の奥深い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下4テーマの特別展示を行った。

(別紙5)

(1)「自転車月間・自転車ロードレース<ツアー・オブ・ジャパン>展」

期間:平成27年4月1日~6月21日

来館者数:1,466名

(2)「はじめてみませんか?!サイクリング展」

期間:平成27年7月1日~10月4日

来館者数:1,400名

(3)「コンパクトサイクル展」

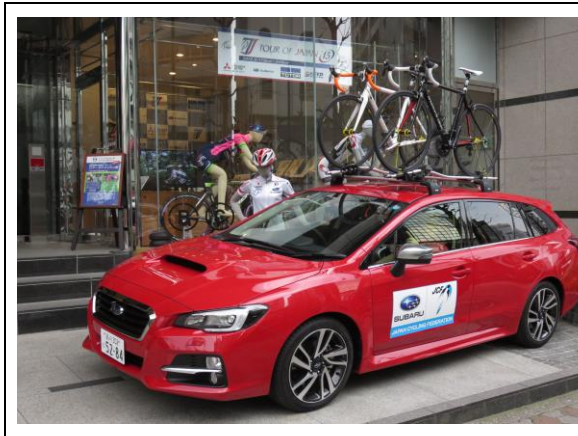
期間:平成27年10月7日~平成27年12月27日

来館者数:1,486名

(4)「ハンドメイドバイシクルの魅力展」

期間:平成28年1月14日~3月31日

来館者数:1,534名



「自転車月間・自転車ロードレース
<ツアー・オブ・ジャパン>展」



「はじめてみませんか!サイクリング展」



「コンパクトサイクル展」



「ハンドメイドバイシクルの魅力展」

④自転車出張教室

- (1)「東京サイクルデザイン専門学校教員研修セミナー」
日時：平成27年4月10日(金) 14:20~15:40
場所：東京サイクルデザイン専門学校内 デザイン教室
参加者数：6名
- (2)「自転車交通安全講習会」
日時：平成27年6月1日(月) 14:00~16:00
場所：Kインターナショナルスクール東京校内
参加者数：約20名
- (3)「親子自転車交通安全教室」
日時：平成27年7月11日(土) 10:00~
場所：川崎市立戸手小学校
参加者数：約200名
- (4)「自転車の道路交通法の改正ポイントと安全走行方法について」
日時：平成27年7月27日(月) 18:00~19:20
場所：板橋産連会館3階会議室
参加者数：26名
- (5)「自転車事故を起こさない方法を知って安全利用」
日時：平成27年8月7日(金) 10:00~12:00
場所：井草地域区民センター 第1・2集会室
参加者数：50名
- (6)「自転車の交通ルールとその指導及び啓発」
日時：平成27年9月16日(金) 15:00~16:30
場所：とかちプラザ
参加者数：約380名
- (7)「自転車の交通安全講習会」
日時：平成27年9月30日(水) 9:00~10:00
場所：ニューウェルシティ宮崎
参加者数：50名
- (8)「自転車の交通安全講習会」
日時：平成27年10月21日(水) 9:30~12:00、22日(木) 13:30~16:00
場所：東京しごとセンター
参加者数：21日 28名、22日 16名、計44名
- (9)「自転車法的トラブル相談会・セミナー」
日時：平成27年11月7日(土) 13:00~14:00
場所：司法書士会館
参加者数：7名
- (10)「東海・北陸ブロック 平成27年度交通ボランティア等ブロック講習会」
日時：平成27年11月11日(水) 13:45~14:45
場所：ホテルリソル岐阜 6階雪音
参加者数：53名
- (11)「自転車の交通安全講習会」
日時：平成27年11月12日(木)、13日(金) / 9:30~12:00、13:30~16:00
場所：東京しごとセンター
参加者数：12日 午前19名、午後28名、計47名
22日 午前26名、午後19名、計45名
- (12)「自転車の交通安全講習会」
日時：平成27年11月14日(土) 10:30~11:30

(別紙5)

場所：杉並区立荻窪小学校 2階図書室

講師：谷田貝学芸員

参加者数：約100名

(13)「自転車事故防止と安全対策講習会」

日時：平成27年12月2日(水) 14:00~15:00

場所：高円寺中央会議室

参加者数：約50名

(14)「明治初期の自転車に関する講演」

日時：平成27年12月6日(日) 13:30~15:30

場所：常葉大学 水落校舎4階403教室

講師：谷田貝学芸員

参加者数：約200名

(15)「自転車を取り巻く社会情勢と歴史」

日時：平成28年1月26日(火) 13:00~13:30

場所：ホテルラングウッド5階「光の間」

参加者数：45名

(16)「就業途上の自転車による災害の未然防止と道交法の改定ポイントの周知講習会」

日時：平成28年1月28日(木) 10:00~12:00/13:00~15:00

場所：(国分寺市)福祉センター 3階 第1会議室

講師：谷田貝学芸員

参加者数：午前 22名、午後 25名、計 47名

(17)「自転車安全講習会」

日時：平成28年2月26日(金) 10:00~12:00/13:30~15:30

場所：葛飾区シルバー人材センター事務局 3階 第1会議室

参加者数：午前 20名、午後 17名、計 37名

(18)「自転車安全講習会」

日時：平成28年3月15日(火) 9:30~12:00

場所：東京しごとセンター4階会議室

参加者数：16名

(19)「自転車安全講習会」

日時：平成28年3月30日(水) 13:30~16:30

場所：渋谷区シルバー人材センターせせらぎ内大会議室

参加者数：24名



親子自転車交通安全教室
(川崎市立戸手小学校)



自転車交通安全講習会
(Kインターナショナル東京)



自転車安全利用講習会
(東京しごと財団)



交通安全教室
(葛飾区シルバー人材センター)

3. 自転車による地域活性化促進事業

① バイコロジー地方組織開催 (<http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>)

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。

また、キャンペーンにおいて配布する啓発チラシ(反射シール付)を作成し、バイコロジー地方組織に配布し、一般市民に普及啓発を図った。



統一 (函館バイコロジー)



統一 (岡山バイコロジー)

② バイコロジー地域リーダー養成セミナー

(http://www.bpaj.or.jp/file_upload/100740/_main/100740_01.pdf)

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活性化を図るため、バイコロジー地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジー運動のリーダー育成を目的としたセミナーを2地区において、計2回開催した。

(別紙5)

	
東京会場 (13 組織 15 名、一般 35 名他関係団体参加合 計 50 名)	福岡会場 (5 組織 6 名、一般 11 名、参加合計 17 名)

③自転車利用に関する意識調査 (<http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>)

自転車利用に関する意識調査については、自転車を利用する方の意識を把握するために、アンケートを実施した。回答者には作製した自転車利用啓発アクセサリ-を配布し自転車の安全利用について普及啓発を図った。



自転車利用意識調査 (宮城バイロジ-) 自転車利用意識調査 (防府バイロジ-)

2 予想される事業実施効果

1. 自転車情報提供事業

自転車に関する様々な情報を提供することにより、日本における自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車の利用方法に関連する知識を身につけ、昨今続いている自転車ブームを更に成熟させる役割の一翼を担うことで、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

(別紙5)

また、社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方自治体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

2. 自転車普及啓発イベント

①自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

②企画催事

自転車に対する人気と関心が高まり続けている。人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとして、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じた自転車の需要は、今後も益々高まると思われるため、それらのニーズを満たす自転車を一般の方々に広く知ってもらう機会が求められる。

③テーマ展示

自転車の様々な情報や展示に触れることで、自転車に対する社会的な関心を高め、本センター来場者の自転車への興味を更に高める。

④自転車出張教室

自転車利用者の交通ルール遵守・マナーの向上、自転車事故の減少につながる安全利用の普及啓発効果が期待できる。

3. 自転車による地域活性化促進事

①バイコロジー地方組織開催

現在の社会状況に合致したバイコロジー運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイコロジー運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及が進むものと予想される。

②バイコロジー地域リーダー養成セミナー

各地域におけるリーダーの育成により、「バイコロジー運動」の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

③自転車利用に関する意識調査

全国各地で実施したアンケート調査は、一般市民のニーズを聞き取り把握することで、今後の活動に活かすことができる。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・平成27年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

(<http://www.bikeology.bpaj.or.jp/bikemonth/2015/2015report2.html>)



- ・平成27年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2015』来場者案内用チラシ

<p>チラシ (表)</p>	<p>チラシ (裏)</p>

(別紙5)

・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

<p>パンフレット (表)</p>	<p>パンフレット (裏)</p>

・自転車利用啓発アクセサリ

<p>LEDライト付きキーホルダー</p>

・自転車文化センター研究報告書(第8号)

http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/file_upload/100246/_main/100246_01.pdf

<p>報告書 (表紙)</p>	<p>報告書 (目次)</p>

(別紙5)

・「2016ハンドメイドバイシクル展」印刷物

<p>チラシ・ポスター</p>	<p>来場者アンケート</p>

<p>来場者用パンフレット (表面)</p>	<p>来場者用パンフレット (裏面)</p>

・出張教室参加者配布用教材

<p>LED 反射クリップ</p>	<p>ワイヤーロック</p>

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3丁目3番1号

代表者： 会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署： 事務局(ジムキョク)

担当者名： 事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： jifukyo@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>